



津田梅子

～女子教育の 先駆者として～

明治4年にわずか満7歳で岩倉使節団にて渡米留学し、帰国後、女子高等教育の開拓に精魂を尽くした津田梅子。次の紙幣改定時に5千円札の顔となる梅子の生涯を紐解き、女性活躍の礎を築いた軌跡についてお話しいたします。

日時 令和元年10月18日（金）14：00～16：00（開場13：30）

会場 タワーホール船堀 4階 研修室
（都営新宿線「船堀駅」下車すぐ）
※駐車場は有料です。
できるだけ公共交通機関をご利用ください。

定員 60名（先着順）
※区内在住・在勤・在学の方優先

講師 江刺昭子（えさし・あきこ）
1942年生まれ。早稲田大学教育学部卒業後、編集者を経て、女性史やノンフィクションを執筆。各地の地域女性史編纂や女性史研究グループの指導育成にもかかわる。著書は、『草履—評伝大田洋子』、『女のくせに一草分けの女性新聞記者たち』、『樺美智子—聖少女伝説』など。



入場無料

【お申込み・お問い合わせ】

お電話またはFAXでお申し込みください。

TEL：03-5676-2455 FAX：03-5676-2458

※一時保育（2歳以上の未就学児8名まで）、手話通訳をご希望の方は、
10月4日（金）までにお申し込みください。

江戸川区女性センター

〒134-0091 江戸川区船堀 4-1-1 タワーホール船堀 3階
開館時間：日曜～金曜 9:00～17:00

